

## 中小企業景況

### [概要]

景況感は、依然として厳しい状況が続いている。

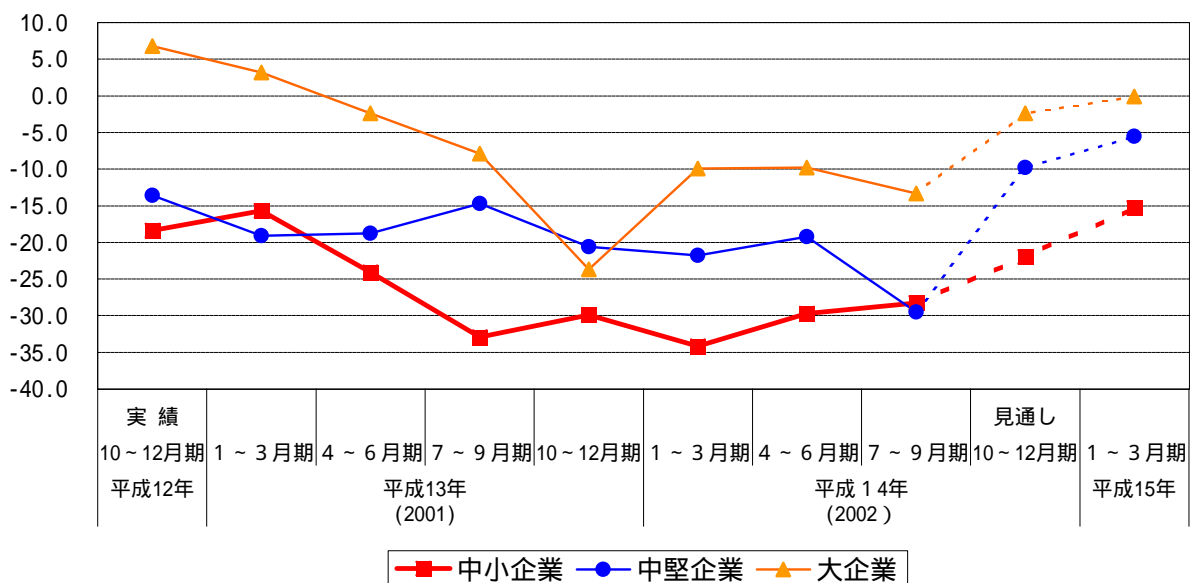
### 1 『財務省景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

(1) 九州北部3県企業景況現状判断（平成14年7～9月）

全産業で「下降」超となっているなか、大企業の非製造業・中小企業の製造業で「下降」超幅縮小

		中小企業	中堅企業	大企業		
平成12年	10～12月期	実績	18.4	13.6	6.8	
	1～3月期		15.7	19.1	3.2	
平成13年 (2001)	4～6月期		24.1	18.8	2.4	
	7～9月期		32.9	14.7	7.9	
平成14年 (2002)	10～12月期		29.9	20.6	23.7	
	1～3月期		34.2	21.8	9.9	
	4～6月期		29.7	19.2	9.8	
	7～9月期		28.3	29.5	13.3	
平成15年	10～12月期		見通し	22.0	9.8	2.4
	1～3月期			15.3	5.5	0.1

九州北部3県企業景況現状判断BSIの推移



### 注) 調査の概要

- 1) 調査方法 対象企業に調査票を郵送し、自社記入を求める方法による。なお、主要企業79社に対してはヒアリングを実施。
- 2) 調査時期 平成14年8月
- 3) 対象期間 平成14年7～9月期の現状判断及び10～12月期、平成15年1月～3月期の見通し
- 4) 対象企業数 九州北部3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する金融・保険業を除く資本金1千万円以上の企業。対象企業：大手出先企業10社を含む511社（うち、大企業（資本金10億円以上）が133社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）が128社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が250社）

## 中小企業景況

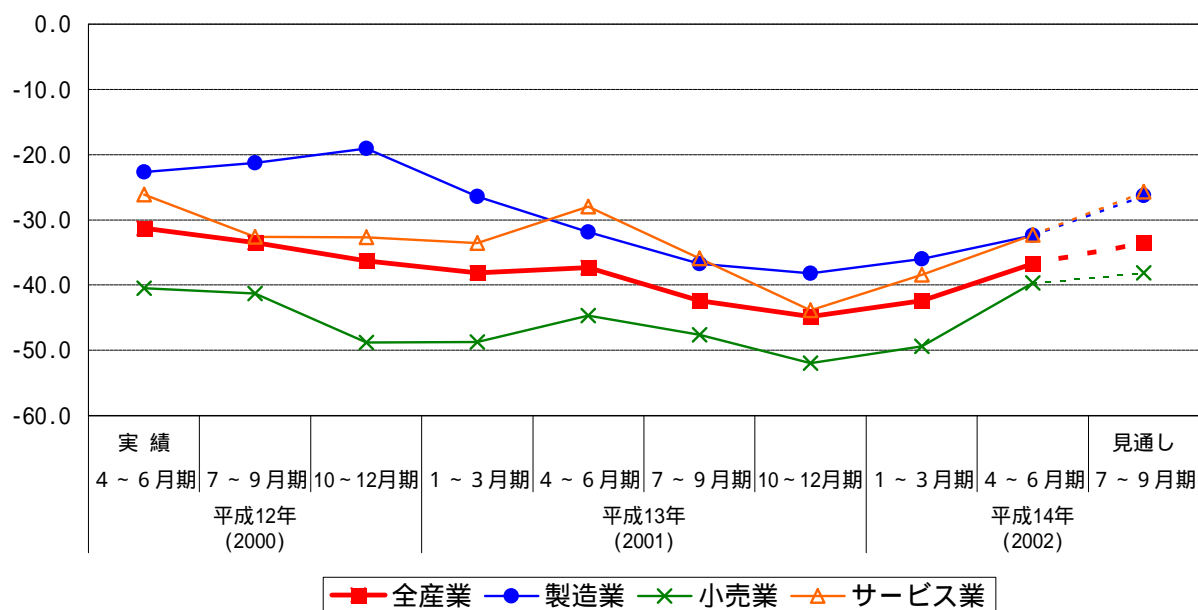
### 2 『九州地域中小企業景況調査』（九州経済産業局調査結果）

#### （1）管内中小企業業況判断D I（平成14年4～6月期）

- ア 全産業で 36.7 となり、前期から 5.7 ポイント「悪化」超幅が縮小
- イ 産業別では、建設業のみ「悪化」超幅が拡大したものの、それ以外は「悪化」超幅が縮小

			全産業	製造業	小売業	サービス業
平成12年 (2000)	4～6月期	実績	31.3	22.7	40.5	26.1
	7～9月期		33.5	21.3	41.3	32.6
	10～12月期		36.3	19.1	48.8	32.7
平成13年 (2001)	1～3月期		38.1	26.4	48.7	33.6
	4～6月期		37.3	31.9	44.7	28.0
	7～9月期		42.4	36.7	47.6	35.9
平成14年 (2002)	10～12月期		44.8	38.2	52.0	43.9
	1～3月期		42.4	36.0	49.4	38.4
	4～6月期		36.7	32.4	39.7	32.3
	7～9月期	見通し	33.5	26.3	38.1	25.7

管内中小企業業況判断D Iの推移



#### 注) 調査の概要

- 1) 調査時点 平成14年6月5日
- 2) 対象期間 平成14年4～6月期の現況判断及び7～9月期の見通し
- 3) 対象企業数 2,643社 (有効回答企業数 2,495社、回答率 94.4%)